

「食の国あきた」推進運動を進めます!

県では、地産地消運動についてこれまで様々な取り組みを行ってきており、徐々に県民の間に浸透してきたと感じています。今後は、更に根付いたものにするため、県民による自主的な活動を支援しながら、県民一人ひとりの運動として進めていきたいと考えています。

また、健全な食生活の実現や、消費者と生産者との信頼関係の構築、さらには、地域の伝統的な食文化を継承して個性豊かな地域づくりにつなげるため、食育の推進が重要であると考えています。

このため、これらの取り組みを実践的に行う「食の国あきた推進チーム」を設置して、関係機関・団体と連携しながら「食」の県民運動として取り組んでいきます。



生産者と消費者の交流促進



子どもたちなどへの食教育の充実



地域の伝統的な食文化の継承と創造

食育

地産地消

県民・関係団体・行政
協力



地産地消の推進

秋田の自然や風土に調和した豊かな食生活の実現

例えば…(平成16年度活動事例から)

子どもたちの給食に秋田の食材を!

子どもたちに安全で安心・新鮮な食材を提供しながら、給食を「生きた教材」として、食の大切さ、楽しさ、さらには郷土愛を育み、農業や地域の活性化にもつなげようという取り組みを、学校給食関係者、農業関係者、関係団体などの連携により実施しています。

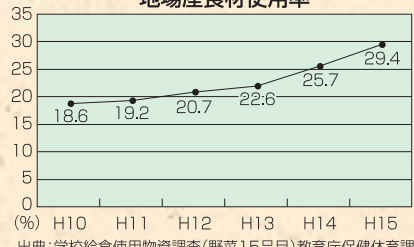


平成16年度は大曲・仙北地域でモデル的に地産地消メニューを作成して、管内全域で提供され、地域食材、伝統食の見直し、新たな食材供給や加工品開発のきっかけとなっています。



地場産食材使用率

学校給食での地場産食材の使用率は年々増加しており、平成15年度では29.4%となっています。



幼児期の食育実践活動

秋田地域振興局では、生涯を通じた健康づくりの基礎となる、より良い食習慣の形成のため、幼児期からの望ましい食環境づくりを行うことを目的に、管内の保育所・幼稚園児を対象に食育体験事業を実施しています。



「収穫」から「調理」そして「食べる」まで一連の体験を地元農家や食生活改善推進員等の協力により実施しました。地域の人たちと連携することにより、食育の重要性への理解が深まっています。

Information あきた農林水産フォーラム'05を開催

9月10日(土)、11日(日)の2日間にわたり秋田駅前アゴラ広場において「あきた農林水産フォーラム'05」が開催されます。県内農産物の試食や直売、豪華賞品が当たるスタンプラリーなど、楽しいイベント盛り沢山でお待ちしております。ぜひお越しください。



本誌は環境保護のため古紙配合率100%の再生紙と植物性大豆油インキを使用しています。